

平成 24 年度
「一般用医薬品販売制度定着状況調査」
郵便等販売実態把握調査
調査結果報告書

ソフトブレイン・フィールド株式会社

I. 調査の目的

本調査は、経過措置により認められている離島居住者および継続使用者への第2類医薬品等の郵便等販売の利用実態を確認することを目的とする。

II. 調査の方法等

1. 調査対象

全国の薬局及び店舗販売業者のうち、郵便等販売に係る届出をしている業者のうち、2,500件を無作為抽出し、調査対象とした。

2. 調査方法

○アンケート調査票は上記、調査対象宛てに郵送にて配布

○各薬局及び店舗販売業より提出された回答票を集計

3. アンケート調査期間

平成25年1月10日～平成25年2月5日

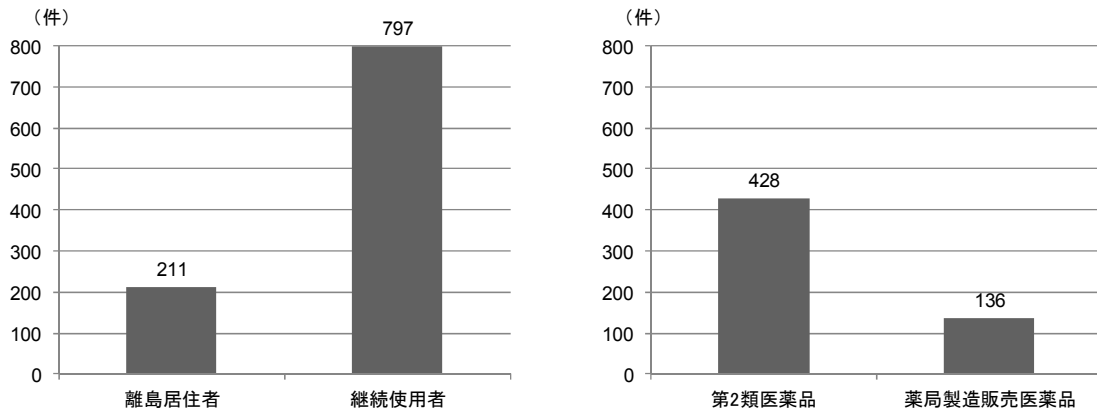
4. 集計方法

○全国から回収された1,623件のうち、白紙回答や不完全な回答を除き1,540件を有効回答票とした。回収率は64.9%であった。

○有効回答票内訳:薬局 947件 店舗販売業 593件

Ⅲ. 調査結果

1. 郵便等販売に係る届出内容（回答数：912 件）



2. 平成 24 年 6 月以降の郵便等販売の有無 (回答数: 1,540 件)

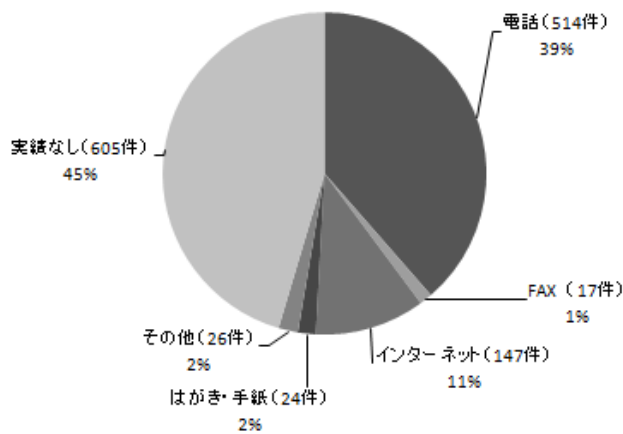
平成 24 年 6 月以降に何らかの郵便販売の実績があるかどうかの回答を求めたところ、実績有りが 49%、実績無しが 51%となった。



3. 郵便等販売を行うにあたり、最も多用するコミュニケーションツール (回答数: 1,333 件)

平成 24 年 6 月以降に何らかの郵便販売の実績があるかどうかの回答を求めたところ、電話が一番多く 39%、ついでインターネット 11%となった。

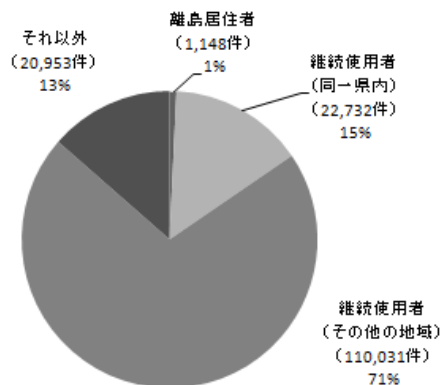
※インターネットには、電子メールの利用や、ウェブサイトにおける掲示等を含む



4. 郵便等販売を行った延べ送付先件数(平成 24 年 10 月 1 日～11 月 30 日)

平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 11 月 30 日までに郵便等販売を行った延べ送付先件数について回答を求めたところ、送付先総数は延べ 154,864 件であった。

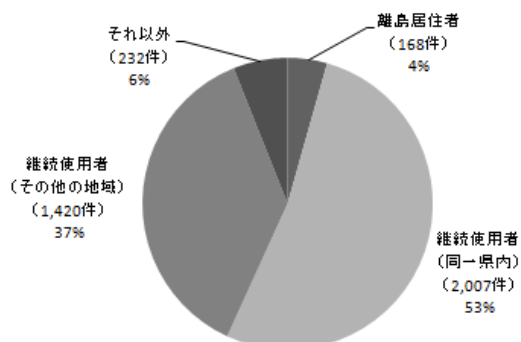
また、1 個以上販売したと回答した 685 業者の平均販売件数は、226 件であった。またその中央値は 12 件であった。



4-1 薬局製造販売医薬品の郵便等販売を行った延べ送付先件数(平成 24 年 10 月 1 日～11 月 30 日)

平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 11 月 30 日までに郵便等販売を行った薬局製造販売医薬品の延べ送付先件数について回答を求めたところ、送付先総数は延べ 3,827 件であった。

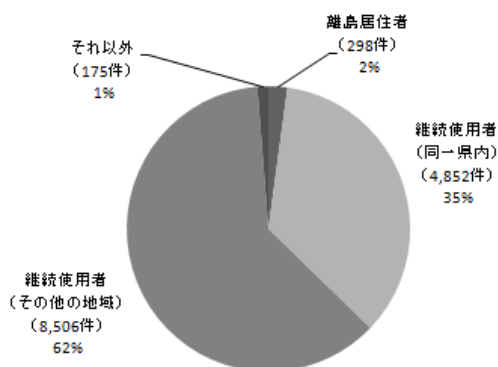
また、1 個以上販売したと回答した 82 業者の平均販売件数は、47 件であった。またその中央値は 7 件であった。



4-2 第 2 類医薬品の郵便等販売を行った延べ送付先件数(平成 24 年 10 月 1 日～11 月 30 日)

平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 11 月 30 日までに郵便等販売を行った第 2 類医薬品の延べ送付先件数について回答を求めたところ、送付先総数は延べ 13,831 件であった。

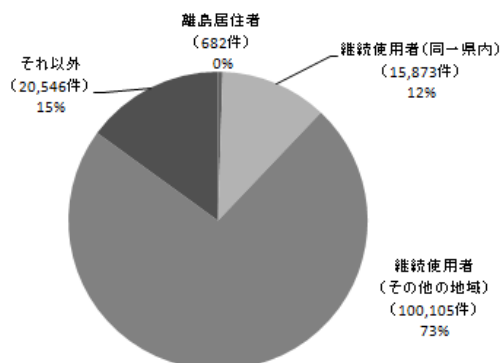
また、1 個以上販売したと回答した 403 業者の平均販売件数は、34 件であった。またその中央値は 7 件であった。



4-3 第3類医薬品の郵便等販売を行った延べ送付先件数(平成24年10月1日～11月30日)

平成24年10月1日から平成24年11月30日までに郵便等販売を行った延べ送付先件数について回答を求めたところ、送付先総数は延べ137,206件であった。

また、1個以上販売したと回答した547業者の平均販売件数は、251件であった。またその中央値は9件であった。

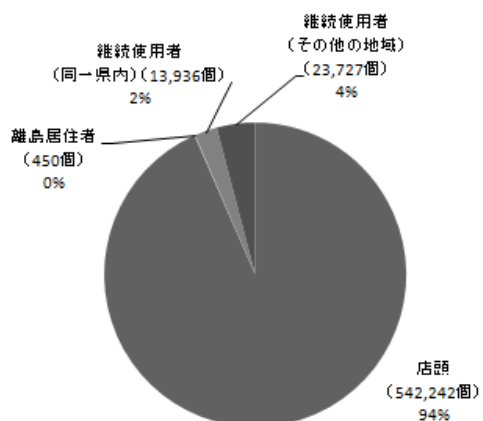


5. 郵便等販売を行った第2類医薬品の個数(平成24年10月1日～11月30日)

平成24年10月1日から平成24年11月30日までに郵便等販売を行った個数について回答を求めたところ、販売実績個数は、580,355個であった。

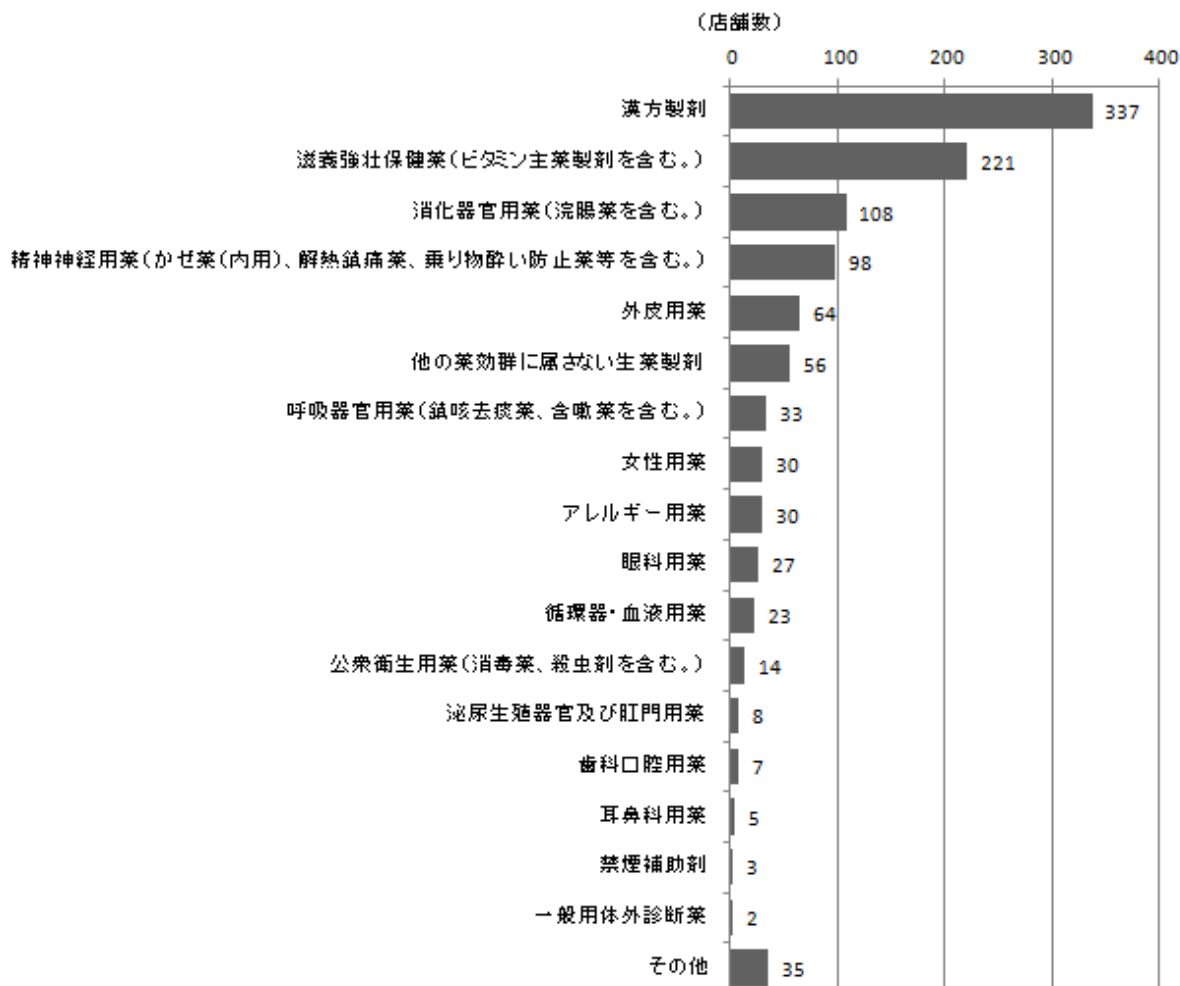
うち、店舗における店頭販売による販売実績個数は、542,242個であり、郵便等販売による販売実績個数は38,113個であった。

また、1個以上販売したと回答した686業者の平均販売個数は、846個であった。またその中央値は100個であった。



6. 経過措置を利用して販売を行った第2類医薬品の主な種類(回答数:512件)

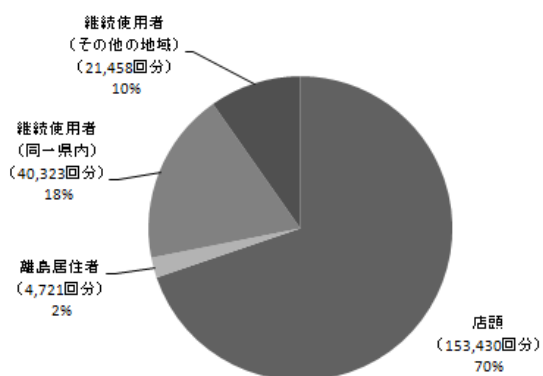
経過措置を利用して販売を行った第2類医薬品の主な種類について、店舗毎に上位3種類の回答を求めたところ、1位-漢方製剤:337店舗、2位-滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤を含む。):221店舗、3位-消化器官用薬(浣腸薬含む):108店舗となった。



7. 販売等を行った薬局製造販売医薬品の量(平成24年10月1日~11月30日)

平成24年10月1日から平成24年11月30日までに郵便等販売を行った薬局製造販売医薬品の量について回答を求めたところ、実績は219,932回分であった。

また、1回分以上販売したと回答した182業者の平均販売件数は、1,208回分であった。またその中央値は123回分であった。



8. 経過措置を利用して販売を行った薬局製造販売医薬品の主な種類(回答数:152 件)

経過措置を利用して販売を行った薬局製造販売医薬品の主な種類について、店舗毎に上位 3 種類の回答を求めたところ、1 位-漢方製剤:115 店舗、2 位-滋養強壮保健薬(ビタミン主薬製剤を含む。):29 店舗、3 位-精神神経用薬(かぜ薬(内用)、解熱鎮痛薬、乗り物酔い防止薬等を含む。):28 店舗となった。

